

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年8月26日(2021.8.26)

【公開番号】特開2019-92892(P2019-92892A)

【公開日】令和1年6月20日(2019.6.20)

【年通号数】公開・登録公報2019-023

【出願番号】特願2017-225231(P2017-225231)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年7月13日(2021.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持体と、

前記支持体に対して開閉可能に支持される開閉体と、

前記開閉体と前記支持体とを施錠する施錠装置と、

前記開閉体に搭載されて、遊技球が入球可能な入球手段が設けられた遊技領域を有する遊技体と、

前記遊技領域に向けて遊技球を発射可能な発射手段と、

前記発射手段により発射された遊技球が前記入球手段に入球したことに基づいて抽選情報取得可能な抽選情報取得手段と、

前記抽選情報取得手段により取得された前記抽選情報を判定可能な判定手段と、

前記判定手段によって特定判定結果が導出されたことに基づいて、遊技者に所定の遊技価値を付与可能な遊技価値付与手段と、を備えた遊技機において、

前記判定手段による前記特定判定結果が導出される確率に対応する設定値を、設定キーを使用することにより設定可能な設定手段、を備えていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

從来より、複数の入賞口が設けられた遊技領域へ、遊技媒体を発射手段により発射し、その遊技媒体がいずれかの入賞口に入賞すると、入賞した入賞口に対して予め定められた数の遊技価値が遊技者に付与される遊技機がある（例えば、特許文献1）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような遊技機に対して、設定値を設定可能な設定手段に関する構成について未だ改良の余地がある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、設定値を設定可能な設定手段に関して好適な構成を有する遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、支持体と、前記支持体に対して開閉可能に支持される開閉体と、前記開閉体と前記支持体とを施錠する施錠装置と、前記開閉体に搭載されて、遊技球が入球可能な入球手段が設けられた遊技領域を有する遊技体と、前記遊技領域に向けて遊技球を発射可能な発射手段と、前記発射手段により発射された遊技球が前記入球手段に入球したことに基づいて抽選情報を取得可能な抽選情報取得手段と、前記抽選情報取得手段により取得された前記抽選情報を判定可能な判定手段と、前記判定手段により特定判定結果が導出されたことに基づいて、遊技者に所定の遊技価値を付与可能な遊技価値付与手段と、を備えた遊技機であって、前記判定手段による前記特定判定結果が導出される確率に対応する設定値を、設定キーを使用することにより設定可能な設定手段、を備えている。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項1記載の遊技機によれば、支持体と、前記支持体に対して開閉可能に支持される開閉体と、前記開閉体と前記支持体とを施錠する施錠装置と、前記開閉体に搭載されて、遊技球が入球可能な入球手段が設けられた遊技領域を有する遊技体と、前記遊技領域に向けて遊技球を発射可能な発射手段と、前記発射手段により発射された遊技球が前記入球手段に入球したことに基づいて抽選情報を取得可能な抽選情報取得手段と、前記抽選情報取得手段により取得された前記抽選情報を判定可能な判定手段と、前記判定手段により特定判定結果が導出されたことに基づいて、遊技者に所定の遊技価値を付与可能な遊技価値

付与手段と、を備えた遊技機であって、前記判定手段による前記特定判定結果が導出される確率に対応する設定値を、設定キーを使用することにより設定可能な設定手段、を備えている。これにより、設定手段に関して好適な構成を有することができる、という効果がある。